

教育活動をつなぐカリキュラム・マネジメント

「アクションプラン」による日常実践

「魅力ある学校づくり」の推進

子どもの目が輝く「授業づくり」

教科の本質に迫る“教材研究”

習得・活用・探究のバランスの取れた“単元構成”

学びを深める“教師のかかわり”

個別最適な学びへつなげる“見取り”

探究

習得 ↔ 活用

「学ばせたいこと」
「見方・考え方」

【裏面参照】

「総合的な学習の時間」の充実

⑤ 振り返り・更新

① 課題の設定

① 課題の設定

④ まとめ・表現

プロセスの確立

② 情報の収集

③ 整理・分析

つながり・支え合う「関係づくり」

主体的に考え・判断する“自治的な集団づくり”

「わからない・教えて」と言える“聴き合える関係”

全ての子どもの“居場所づくり・絆づくり”

主体的・対話的で深い学び
↓
生きて働く「確かな学力」

教科の本質に迫る“教材研究” —授業づくりにあたって—

- 学習内容の**学習指導要領・解説書**における位置づけ等を確認していますか？
- 教科書だけに終始しないで、**多様な参考資料等**に目を通していますか？
- 単元及び本時で**つけなければならない力**を明確にし、目標が**具現化**されていますか？

導入

“自分事”となる課題設定 —「？」を引き出す—

- **短時間**で子どもの**疑問や必要感**を引き出す問いはありますか？
- 問題場面や課題には、**一人では解けない難度**がありますか？
- **課題の追究**が、本時の**ねらいの達成**につながっていきますか？

展開

教師の適切な“かかわり” —「学び」を深める—

- **働かせたい「見方・考え方」**が明確に見えていますか？
- 子ども一人ひとりの**声や思考**に、耳と心を傾けていますか？
- **思考のズレや差異**を焦点化して、子どもに**問い返して**いますか？
- **個々の思考の再構築の時間を確保**していますか？

※グループ学習においても一人ひとりの見取りをていねいに行い、**学びを深める教師のかかわりを大切に**しましょう。

終末

“見取りと評価の精度を上げる” —個別最適な学びにつなげる—

- **評価規準を明確**にし、**児童生徒と共有**していますか？
- **評価問題**を活用し、一人ひとりの**習得状況**を見取っていますか？
- **学んだことを整理・確認する振り返り**を行っていますか？



単元を通して資質・能力を育む授業づくり

教師の指導改善 & 児童生徒の学習改善へ生かす